

【特集】♪CD あります♪

充実のクラシックから洋楽、J-POP、演歌や民謡、童謡、アニメ主題歌、落語、効果音まで東分室には約 5,000 タイトルの CD があります。



貸出数と貸出期間：5点、2週間です。
予約：貸出中のCDへの予約ができます。
また、本館や貫井北分室、緑分室が所蔵しているCDを取り寄せることも出来ます。
(予約点数は5点までです。)

左写真=《東分室のCDコーナー》です
この向かい側にも同じくらいの数のCD
があります

【イベント・講演会開催報告】

日米開戦から75年目の12月8日(木)に、原爆の図丸木美術館学芸員の岡村幸宣さんによる「日米開戦の日
にヒロシマを考える」という講演会を開催しました。

岡村さんは、丸木俊、丸木位里によって描かれた《原爆の図》について、それぞれ洋画と日本画を背景とし、また画風も全く異なる2人の画家による、緊張感を伴った共同制作の作品であることや、1950年代に、日本全国170カ所以上、公民館、学校、寺社、百貨店などあらゆる場所で巡回・展示され、100万人以上の人々によって観られた(その日本橋・丸善画廊での巡回展に実際に行った、という方が、今回受講者として参加されていました。)、ということなどを、《原爆の図》を「核」に対峙する芸術の一つの出発点として位置づけてお話しされました。

そして、昨年のアメリカ合州国での巡回展では、「戦争を終結させるために原爆投下は正しかった」というアメリカで多数を占める意見に対して、ボストンの若い学芸員が、「このグローバル化の時代に、自国だけのものの方にとらわれてるなんてつまらないよね。」と、ある種の軽やかさとともに疑問を呈していたというエピソードを紹介し、そこに一つの希望があるのではないだろうか、とお話を締めくくられました。

なお、東分室の日本史関連の書架には、日米開戦、原爆投下についての本[請求記号210.7]があり、また、講師の岡本さんの『《原爆の図》全国巡回 占領下、100万人が観た!』[721]という本も東分室と本館に所蔵しています。

1月のテーマ図書展示

一般書：「江戸案内」をテーマに幅広く集めました。キーワードは“江戸時代”です。

児童書：1月といたら「お正月」、そして「冬」についてのテーマ図書展示です。

休館日：毎月第1、3火曜日(および臨時・特別休館・年末年始)

開館時間：午前9時から午後7時

(2017年2月21日(火)~23日(木)は、館内特別整理による臨時休館となります。)